

講義コード	1303	科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	セイメイカガク	(フリガナ)	カジワラ タダヒコ
授業科目名	生命科学	担当教員名	梶原 忠彦
英文授業科目名			
基準年次(開講期)	後期	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	集中/324教室		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	生命、自然、食料、環境、バイオテクノロジー		
授業概要・目的	人として生きるために文系理系を問わず必要な教養科目として、生命及び自然と生物の関わりを理解するため、いろんな例について一緒に考える。さらに、昔からの生活の智恵として生命現象を利用してきた技術を科学的に理解し、最近のバイオテクノロジーを考察する。		
到達度評価の 評価項目	生命現象及び自然現象について、自分で問題意識を持ち、それに向かって考える習慣を身に着ける。		
授業計画			
第1回	序論1(種々の自然現象を科学的に考える)		
第2回	序論2(種々の生命現象を科学的に考える)		
第3回	生命1(細胞について学ぶ)		
第4回	生命2(生命にかかわる物質の役割について学ぶ)		
第5回	生命3(生命が如何に制御されているかを学ぶ)		
第6回	分子生物学1(遺伝子発現について学ぶ)		
第7回	分子生物学2(タンパク質の合成と輸送について学ぶ)		
第8回	人の免疫1(免疫機構について学ぶ)		
第9回	人の免疫2(抗体の多様性について学ぶ)		
第10回	植物(植物の役割・利用法について学ぶ)		
第11回	植物生体防御(植物が如何に身を守るか学ぶ)		
第12回	生態系の制御(生物間のかおりコミュニケーションを学ぶ)		
第13回	バイオテクノロジー1(昔からの生活の智恵をバイオテクノロジーと捉える)		
第14回	バイオテクノロジー2(バイオ食品、バイオエタノールなどについて一緒に考える)		
第15回	バイオテクノロジー3(化学農薬に替わる人に優しいバイオ農薬を知る)		
教科書・参考書等	毎回、授業中に教材を配付する。		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス	レポート提出		
履修上の注意・ 受講条件等			
成績評価の基準等			
メッセージ			
オフィス・アワー			
その他			